

みんなの広場

8.23



海洋温度差発電の原理についての講義の様子

海洋温度差発電についての市民講座

市民の皆さんも理解を深めて

佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトで、海洋温度差発電についての市民講座がありました。市と久米島町、佐賀大学の3者により締結した連携協定に基づく事業として開催したもので、伊万里商工会議所の会員企業など18社・団体、25人が参加。佐賀大学による講話や海洋温度差発電施設の見学などを行いました。



波力発電についても実験装置により説明がありました



海洋温度差発電装置の模型を見学する参加者

8.23



演芸発表ではさまざまな歌や踊りが披露されました

第48回市老人福祉大会

生きがいづくりで健康長寿を

市民会館で市老人福祉大会がありました。これは、高齢者の生きがいづくりと交流の拡大を目的に、市と市老人クラブ連合会が毎年開催しているものです。式典のあと、鹿島市老人クラブ連合会会長の高松昭三さんが『健康で長寿の為に』と題して講演したほか、25の団体や個人が歌や踊りを披露しました。また、書や工芸などの展示もありました。



会場内には書や工芸などの力作が並びました



高松さんによる講演の様子

普通救命講習会

いざというとき一歩踏み出す勇気を

伊万里消防署で普通救命講習会がありました。これは、人命に関わる緊急時に迅速に対処できるようになってもらおうと一般市民を対象に行われたもので、16人が参加。消防署職員による救急医療に関する講義のあと、胸骨圧迫のしかたやAEDの使いかたなどの実技訓練があり、参加者は、いざというときの処置のしかたを学びました。



命をつなぐための救急処置の大切さを学ぶ参加者



↑人形を使って胸骨圧迫やAED使用の方法を実践

第55回市立学校夏季創作品展

個性豊かな作品を一堂に展示

児童生徒が夏休みや技術・家庭科の時間に創作した作品を展示する、市立学校夏季創作品展が市民センターでありました。習字や絵画、工作、調査研究など、約1,300点の個性豊かな力作が展示され、家族連れなど多くの人々が訪れました。子どもたちは、所狭しと並べられた中から自分や友達の作品を見つけ、嬉しそうな声を上げていました。



↑家族連れなどにてぎわう会場

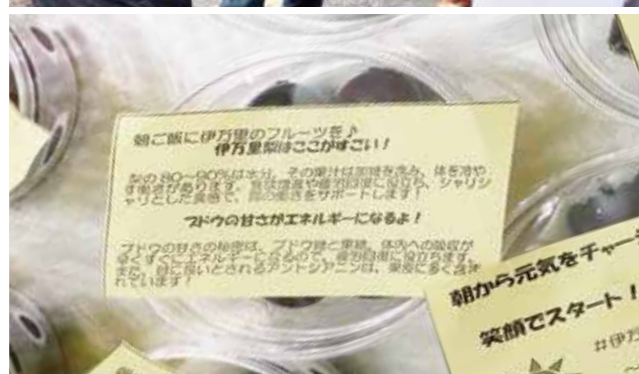
伊万里モーニングスタイル～伊万里の朝を食べよう～

朝の駅前で元気をチャージ

市食のまちづくり推進委員会が、JRとMRの伊万里駅で通学途中の高校生に朝食代わりの伊万里産フルーツを提供しました。これは、朝食の必要性を生徒たちに食べて感じてもらうと実施したもので、カット梨とぶどうを入れたカップを140個用意。『朝ごはんを食べて元気もりもり』などと書かれたチラシを添えて手渡しました。



通学中の高校生にフルーツを配る食のまちづくり推進委員



↑カップ入りフルーツと朝食の大切さを伝えるチラシ

啓成中学校イングリッシュ・デイ

楽しみながら英語に触れよう

啓成中学校でイングリッシュ・デイがありました。これは、授業で身に付けた英語を実際に使うことで、生徒の英語学習への意欲や外国への興味・関心を高めようといわれたもので、3年生117人と県教育委員会から派遣された外国語指導助手4人が参加。各クラスに分かれ、英語を使って伊万里を紹介したり、ゲームをしたりしました。



↑外国語指導助手に対し、英語で発表する生徒